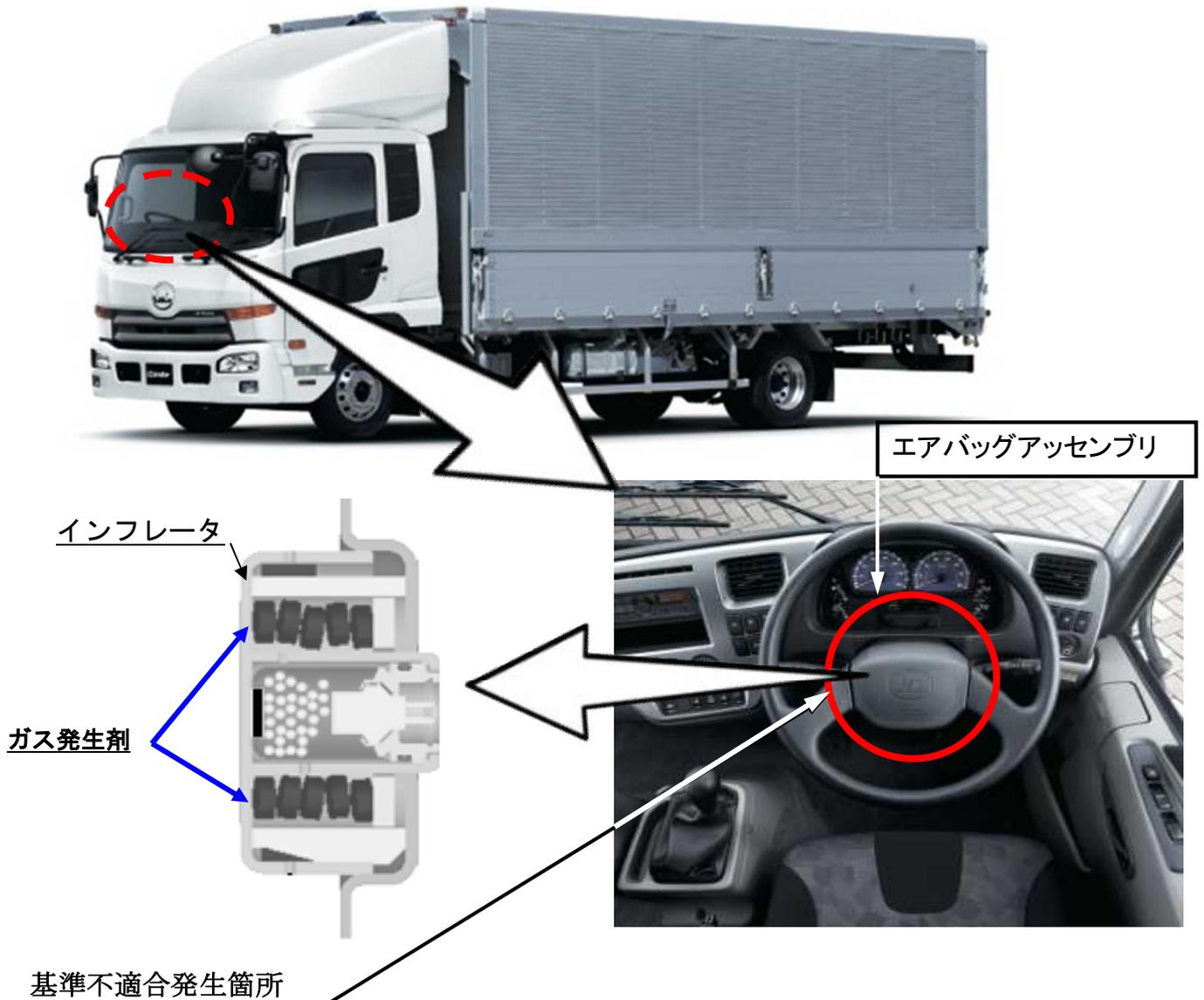


# 改善箇所説明図



運転者席側エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、高温多湿の環境下での長期使用によりガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇して、インフレーター容器が破損するおそれがある。

## 改善措置の内容

全車両、運転者席側エアバッグアッセンブリを対策品と交換する。

なお、交換用対策部品の全数準備に時間を要することから、段階的措置として、以下のとおり製造年の古い車両の交換を優先とし、開始時期に対象ユーザーへ再通知する。

第1段階 2011年製造の車両は2016年10月頃から交換作業を開始する。(含む2011年製造以前の車両)

第2段階 2012年製造の車両は2017年3月頃から交換作業を開始する。

第3段階 2013年製造の車両は2017年9月頃から交換作業を開始する。

最終段階 上記以降の製造車両は2018年3月頃から交換作業を開始する。

注:  内は交換する部品を示す。

識別: 作業完了車には、車名型式名板の車台番号横に黄色または白色ペイントを塗布する。